

小テスト

プログラムファイルの先頭行に、C のコメントとして自分の番号と名前を書いてください。

【問 1】 仮引数が参照する文字列に対して、**その文字列に含まれるハイフン (-) の文字数**を求める関数 `count_hypen()` を作成して下さい。この関数のプロトタイプ宣言は以下のようになります。

```
int count_hypen(char *s);
/* 個数を数えるための変数を用意する */
/* s が参照する文字列全体の繰り返し処理を作る (課題 5-2 参照) */
/* 繰り返し処理の中で、s が参照している配列の i 番目がハイフン (つまり '-' ) の場合、個数を 1 つ増やす */
/* 繰り返し処理終了後に、数えた個数を戻り値とする */
```

`main()` で動作を確認してください。

```
[main() での処理]
char *str0 = "-Hello-World-";
char *str1 = "2017-11-11";
printf("%d\n", count_hypen(str0));
printf("%d\n", count_hypen(str1));
[実行例]
3      (← str0 が参照する文字列に含まれるハイフンの文字数)
2      (← str1 が参照する文字列に含まれるハイフンの文字数)
```

(20 点)

小テストの注意点

- 他人の力は借りずに、自分だけでプログラムを作成する。つまり、**通常の定期試験と同様**。
- 小テスト中は、**演習室外へのネットワークアクセスは遮断される**。

小テスト中に参照できるもの

- 教科書と配付資料
- 自分のホームディレクトリ (ホームフォルダ) 以下に保存されているファイル
- * 上記以外の情報を参照することは不正行為とする
(例: USB で接続された機器に保存されているファイルの参照, ネットワークを介した情報の参照など)

答案の提出

- 保存したファイルは次のように「report」コマンドで提出する (ちゃんと提出できた場合は、「Succeed.」と画面に表示される)
\$ ~kogai/report kiso5 「プログラムファイル」
- 複数のファイルを提出する場合は、report コマンドを分けて提出する
例えば、test1.c と test2.c のファイルを提出したい場合は、次のように 2 回に分けて提出する
\$ ~kogai/report kiso5 test1.c
\$ ~kogai/report kiso5 test2.c
- 同じ問題に対して、複数の提出ファイルが存在した場合は、更新日時が新しい方を提出ファイルとする
- 提出するファイルは、誰から提出されたのか区別されるため、ファイル名は各自で自由に決めて良い

小テストの模範解答

```
/* 自分の番号と名前をここに書く */
#include <stdio.h>

/* 関数のプロトタイプ宣言 */
int count_hypen(char *s);

/* 文字列に対して要素の値がハイフンの文字数を求める */
int count_hypen(char *s)
{
    int i, result;
    result = 0;
    /* 文字列に対して繰り返し加算する */
    for(i=0; *(s+i)!='\0'; i++) {
        if( *(s+i) == '-' ) {
            result ++;
        }
    }
    return result;
}

int main(void)
{
    char *str0 = "-Hello-World-";
    char *str1 = "2017-11-11";

    /* count_nothypen() の動作確認 */
    printf("%d\n", count_hypen(str0));
    printf("%d\n", count_hypen(str1));

    return 0;
}
```